

安全データシート (SDS)

製品名：マジカルリペラー
版数：2.2 (JP)
改訂日：2020/4/3

1. 化学品及び会社情報

1.1 名称

製品名：マジカルリペラー

1.2 会社情報

製造者：旭化成ワッカーシリコン株式会社

供給者：カジマ・リノベイト株式会社

郵便番号：〒162-0065

住所：東京都新宿区住吉町 1-20

電話番号：03-5379-8771

FAX 番号：03-5379-8680

SDS についての情報： 電話番号 03-5379-8771

ファックス番号 03-5379-8680

E-メール majical-repeller@kajima-renovate.co.jp

1.3 推奨用途および使用上の制限

物質/調剤の用途：工業用

以下の改質剤：建材

2. 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

有害性項目	危険有害性カテゴリー	暴露経路
発がん性	区分 1A	
生殖毒性	区分 1A	

2.2 ラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：危険

H-コード	危険有害性情報
H350	発がんのおそれ
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ

安全データシート (SDS)

製品名： マジカルリペラー
版 数： 2.2 (JP)
改訂日： 2020/4/3

P-コード	注意書き
P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P308+P313	暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
P405	施錠して保管すること。
P501	内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

2.3 その他の危険

エアロゾルミストの吸入による健康障害に注意を要する。

3. 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区分

混合物

3.2 化学名又は一般名

シリコーン乳濁液

成分	含有量 (%)	化学特性	官報公示整理番号-化審法	官報公示整理番号-安衛法	CAS 番号
オルガノシラン、シリコーン	75-85	非公開	記載あるが非公開	記載あるが非公開	記載あるが非公開
水、その他	15-25	非公開	記載あるが非公開	記載あるが非公開	記載あるが非公開
エタノール	0.1-1.0	C2H5OH	2-202	2-202	64-17-5

GHS 分類に該当する不純物

エタノール

本製品は、高懸念物質 (SVHC) ((EC) REACH 規制 No. 1907/2006、第 57 条) を 0.1%以上含まない。

安全データシート (SDS)

製品名： マジカルリペラー

版 数： 2.2 (JP)

改訂日： 2020/4/3

4. 応急措置

4.1 応急措置の内容

一般情報：

事故や気分が悪い場合には医師の診察を受ける。その際、可能であれば製品ラベルまたは SDS を医師に見せる。

眼に入った場合：

直ちに 10～15 分間大量の清浄な水で洗浄する。直ちに医師の手配をし、医師に化学品名、製品ラベルなどを示す。

皮膚に付着した場合：

大量の水、または水と石鹼で洗う。目に見える皮膚の変化あるいは他の症状がある場合は、医師の診察を受ける（可能であればラベルまたは SDS を示す）。

吸入した場合：

新鮮な空気を与える。

飲み込んだ場合：

大量の水を飲ませる。吐かせてはいけない。

4.2 最も重要な徴候及び症状

本項の別箇所に関連情報がある。

4.3 医師による応急手当または特別な治療の必要性

—

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

消火剤：

非該当

使用不可消火剤：

非該当

5.2 火災時の特有の危険有害性

非該当

5.3 火災予防に関する注意

消火時に必要な保護具：

空気呼吸器を着用する。

一般情報：

不燃物なので、火元の火災状況に適した消火剤を使用する。

安全データシート (SDS)

製品名： マジカルリペラー

版 数： 2.2 (JP)

改訂日： 2020/4/3

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

製品から発生したミストや蒸気の吸入を防ぐ。眼や皮膚への接触を防ぐ。

6.2 環境に対する注意事項

下水や河川に流出させない。製品が広がらないように土などの適切なもので堰き止める。汚染された水や消化液を回収する。処分の指示を表示した容器に廃棄する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法・機材

水で洗い流さない。回収し、各自治体の廃棄処理法令等を確認して処分する。

6.4 その他参照項目

他項の関連情報に留意すること。これには特に個人用保護具(第8項)および廃棄(第13項)に関する情報が該当する。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全取扱い注意事項

安全取扱い注意事項：

エアロゾルが発生する場合には、保護措置(吸引排気、呼吸保護)を講ずる。製品がこぼれた場合、滑りやすくなるので注意する。

火災、爆発防止の注意事項：

容器内に製品が残っている場合には、爆発性ガスが生成する恐れがある。製品からメタノールが分離することがある。

7.2 適切な保管条件

保管場所及び容器：

凍結させない。

接触を避ける物質等：

知見なし

その他の保管条件等：

容器を密閉し、換気の良い冷所に保管する。

7.3 特定の最終用途

データなし。

安全データシート (SDS)

製品名：マジカルリペラー
版数：2.2 (JP)
改訂日：2020/4/3

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメータ

作業環境の暴露限界値：

CAS 番号	化学物質	タイプ	mg/m ³	ppm	Dust fract	繊維質/m ³
	エアロゾル-吸入性画分		10.0			

上記の値は使用中にエアロゾルの生成を想定した時の推奨値である。

8.2 暴露管理

8.2.1 作業場所での暴露対策

一般的な保護対策及び衛生対策：

眼や皮膚への接触を防ぐ。製品から発生するガス、蒸気、エアロゾルミストなどを吸入しないようにする。取扱い中は飲食及び喫煙をしない。

保護具：

呼吸用保護具

スプレー或いはエアロゾルに暴露する場合は、適切な呼吸保護具及び防護服を着用する。適切な呼吸保護具：EN 136 規格等で認められた ABEK タイプのガスフィルタ（特定の無機、有機及び酸性ガス及び蒸気；アンモニア/アミン用）

呼吸保護具の使用時間限度及び装置メーカーの注意情報を遵守する。

眼の保護具

推奨：保護眼鏡。

手の保護具

製品を取扱う場合は、保護手袋の着用を推奨する。

手袋の推奨素材：ブチルゴム製保護手袋

素材の厚さ：>0.3mm

破過時間：>480min

手袋メーカーからの浸透性や耐用期間に関する指示を遵守する。切傷の危険、摩損、接触時間等の製品を使用する現場の特殊状況も考慮する。耐薬品防護手袋の日常使用時間は、（温度等の）多くの作用要因により、テストで確認された浸透時間よりはるか短いことに留意する。

8.2.2 環境への漏出対策

河川、海洋、湖沼や土壤に流さない。

安全データシート (SDS)

製品名： マジカルリペラー

版 数： 2.2 (JP)

改訂日： 2020/4/3

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的及び化学的性質

性状		値	試験法
外観	形状	ペースト	
	色	白色	
臭い	臭い	特異臭	
臭気限度	臭気限度	データなし	
pH	pH	約 5	
融点/凝固点	融点	非該当	
沸点	沸点	非該当	
引火点	引火点	>70°C	JIS K2265-2: 密封式
蒸発率	蒸発率	データなし	
燃焼または爆発の上限/下限	爆発限界 (下限)	非該当	
	爆発限界 (上限)	非該当	
蒸気圧	蒸気圧	非該当	
溶解度	水溶性/混和性	非該当	
蒸気密度	蒸気密度	データなし	
相対密度	相対密度	約 0.9 (25°C) (水/4°C=1.00)	
	密度	約 0.9g/cm ³ (25°C)	
n-オクタノール/水分配係数	n-オクタノール/水分配係数	データなし	
自然発火温度	発火点	非該当	
粘度	粘度	非該当	
分子量	分子量	非該当	

9.2 その他の情報

追加情報 水溶性/混和性：加水分解する。爆発限界(エタノール)：3.5~15 vol%

安全データシート (SDS)

製品名： マジカルリペラー

版数： 2.2 (JP)

改訂日： 2020/4/3

10. 安定性及び反応性

10.1 一般情報

現時点において、通常の工業的取扱い及び保管において危険な反応等は報告されていない。

別項に関連情報が記載されている場合がある。

10.2 避けるべき条件

知見なし。

10.3 不適合材料

穏やかに反応する物質：水及び酸 反応により発生する物質：エタノール

10.4 危険有害な分解生成物

加水分解により エタノール。

11. 有害性情報

11.1 毒性に関する情報

11.1.1 急性毒性

評価：

類似製品の動物試験によると、エアロゾルの吸入による特定の健康障害の兆候は見られない。しかしながら、吸引力エアロゾルの吸引は避けるべきである。

製品関連情報：

暴露経路	結果/作用	生物種/試験システム	出典
経口	LD50:>2000mg/kg 本評価は構成成分の相当データに基づくものである。	ラット	類似製品による推定

11.1.2 皮膚腐食性/刺激性

評価：

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.3 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

評価：

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.4 呼吸器感作性または皮膚感作性

評価：

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.5 生殖細胞変異原性

評価：

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

安全データシート (SDS)

製品名： マジカルリペラー

版 数： 2.2 (JP)

改訂日： 2020/4/3

11.1.6 発がん性

評価：

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.7 生殖毒性

評価：

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.8 特定標的臓器毒性(単回暴露)

評価：

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.9 特定標的臓器毒性(反復暴露)

評価：

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.10 吸引性呼吸器有害性

評価：

本製品の物理化学特性からは、吸引性呼吸器有害性は予期されない。

11.1.11 追加の毒性情報

加水分解生成物/不純物：エタノール(64-17-5)はあらゆる暴露経路において良好且つ迅速に吸収される。エタノールは眼や粘膜を刺激したり、中枢神経系に支障をきたしたり、吐き気やめまいを起こすことがある。大量エタノールへの慢性暴露は肝臓や中枢神経の損傷をもたらすことがある。

12. 環境影響情報

12.1 有害性

評価：

現時点において、排水処理施設への影響は報告されていない。

12.2 残留および分解性

評価：

水と反応することでメタノール、シラノール化合物および/またはシロキサノール化合物を形成する。
シリコン成分： 生分解性は低い。活性汚泥への吸着による処理可能。加水分解生成物(エタノール)は生物分解しやすい。

12.3 生体蓄積性

評価：

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

12.4 土壌中移行性

評価：

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

安全データシート(SDS)

製品名： マジカルリペラー

版 数： 2.2(JP)

改訂日： 2020/4/3

12.5 PBT(難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する)並びに vPvB(高難分解性および高生物蓄積性)の評価結果

データなし

12.6 その他有害作用

知見なし

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

13.1.1 残余廃棄物

推奨方法：

焼却処理することとし、化学物質の焼却処理ができる専門業者に処理を依頼するか、自社で焼却する場合には廃棄物処理関連法令及び条例等に従って処理する。焼却により、二酸化ケイ素微粉末が生成するので、適切な電気集塵装置等が設置された焼却設備で焼却する。また、防塵マスク等の保護具を着用する。

13.1.2 汚染容器・包装

推奨：

液ダレ、残粉がないように注意深くかき出し、容器から中身を完全に取り除く。容器はリサイクルできる場合がある。自社で廃棄処理する場合は、廃棄物処理関連法令及び条例等に従って処理する。製品の残った容器は、製品を廃棄する場合と同じ処理方法によって処分する。

14. 輸送上の注意

14.1 輸送関連等級

国内規制(陸上輸送)：

消防法区分： 非該当

追加情報： 運送に際しては、容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。

海上輸送(IMDG Code)：

評価： 非危険物

航空輸送(ICAO/IATA)：

評価： 非危険物

14.2 環境有害性

環境有害性： なし

14.3 使用者への特別注意事項

他項の関連情報に留意すること。

安全データシート (SDS)

製品名：マジカルリペラー
版数：2.2 (JP)
改訂日：2020/4/3

14.4 MARPOL 条約付属書 II 及び IBC 規則に基づくバルク輸送

タンカーによるバルク輸送は意図されていない。

15. 適用法令

15.1 主な適用法令

国/地域の規則を確認すること。

ラベルについての情報は2章参照。

化学物質排出把握管理促進法：

非該当

毒物及び劇物取締法：

非該当

労働安全衛生法

施行令別表第1 危険物： 非該当

有機溶剤中毒予防規則： 非該当

施行令第18条(名称等を表示すべき有害物)： エタノール

第57条の2(通知対象物質)

政令番号 第61号	エタノール
-----------	-------

消防法：

消防法区分： 非該当

15.2 国際的な化学物質登録状況詳細

個々の物質リストに関する情報が存在する場合は、以下にその旨表示される。

韓国(大韓民国)： ECL(Existing Chemicals List)：

この製品は登録されている、或いは物質リストと一致する。

日本： ENCS(Handbook of Existing and New Chemical Substances)：

この製品は登録されている、或いは物質リストと一致する。

オーストラリア： AICS(Australian Inventory of Chemical Substances)：

本製品はリスト表示されていないか、物質インベントリーに適合していません。

中国： IECSC(Inventory of Existing Chemical Substances in China)：

この製品は登録されている、或いは物質リストと一致する。

フィリピン： PICCS(Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances)：

この製品は登録されている、或いは物質リストと一致する。

アメリカ合衆国(USA)： TSCA(Toxic Substance Control Act Chemical Substance Inventory)：

本製品の全成分はアクティブリストに記載、または物質インベントリーと一致しています。

安全データシート (SDS)

製品名： マジカルリペラー

版 数： 2.2 (JP)

改訂日： 2020/4/3

台湾： TCSI (Taiwan Chemical Substance Inventory) :

本製品は既存化学物質リストに登録済み、または物質インベントリーに準拠しています。一般的注記：台湾の化学物質取締法では、TCSI 登録済みあるいは TCSI 準拠物質を台湾に輸入または台湾で製造する際に 100kg/年の限界量を超える場合は（混合物の場合は各成分毎に測定すること）、フェーズ 1 登録が必要です。これに関する責任は輸入業者または製造者が負います。

欧州経済領域 (EEA) : REACH (Regulation (EC) No 1907/2006) :

一般的注意：欧州経済領域 (EEA) での製造あるいは EEA 域内への輸入に求められる登録義務は、指令第 1 項で規定されている供給者によって遂行される。クライアントあるいは他の川下ユーザーが EEA へ輸入する場合に生ずる登録義務は、川下ユーザーが負う。

16. その他の情報

16.1 補足

この情報は本書改訂時点の知見に基づいています。記述内容は法的保証規定の意味における製品性状を保証するものではありません。

本書が提供される場合でも、ユーザーは当該法規及び規定を順守する責任を免除されません。特に本製品を含む混合物または製品の転売、他の法治域への転売、及び第三者の知的所有権の保護もその対象となります。本製品が加工または他の材料と混合された場合は、明確に言明されない限り、本書の記述内容を転用できないことがあります。本製品を再梱包する場合は、要求される安全情報を添付しなければなりません。